

FUJITEC

**2020年3月期
第2四半期
決算説明会**

2019年11月26日(火)

フジテック株式会社

1. 2020年3月期 第2四半期実績

2. 2020年3月期 通期連結業績予想

1. 2020年3月期 第2四半期実績



1-1. 連結決算の概要

売上が過去最高を更新

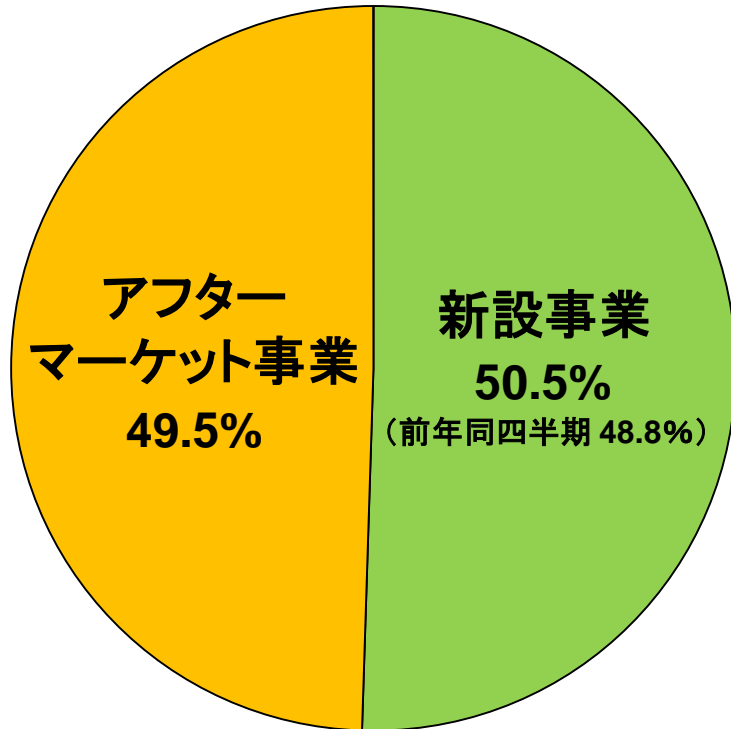
(単位:百万円)

	2020/3 (2Q)	構成比 (利益率)	修正計画	2019/3 (2Q)	構成比 (利益率)	増減 (前年同四半期比)	期初計画
受注高	91,692	100.0%	—	84,821	100.0%	+8.1%	—
国内	36,504	39.8%	—	37,117	43.8%	△1.7%	—
海外	55,188	60.2%	—	47,703	56.2%	+15.7%	—
売上高	85,859	100.0%	85,000	77,482	100.0%	+10.8%	83,000
国内	34,309	40.0%	—	30,306	39.1%	+13.2%	—
海外	51,549	60.0%	—	47,175	60.9%	+9.3%	—
営業利益	6,218	7.2%	6,200	4,143	5.3%	+50.1%	4,700
経常利益	6,926	8.1%	6,800	4,961	6.4%	+39.6%	5,300
親会社株主に 帰属する四半期純利益	4,587	5.3%	4,500	3,935	5.1%	+16.6%	3,600
EPS	56.71円	—	55.62円	48.74円	—	+7.97円	44.56円

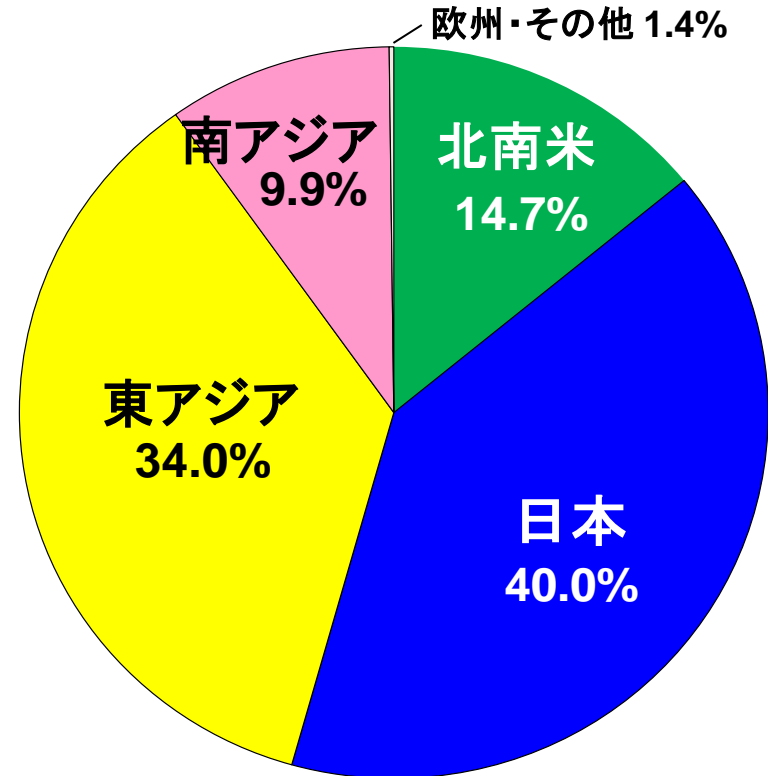
平均為替レート：20/3 2Q：1米ドル110円、19/3 2Q：1米ドル108円

1-2. 事業別・地域別売上高構成比率

事業別売上高



地域別売上高



1-3. セグメント別概要

日本、東アジア、北米・欧州が増収増益

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2020/3 (2Q)	2019/3 (2Q)	増減%	2020/3 (2Q)	2019/3 (2Q)	増減額
日 本	35,659	32,094	+11.1%	2,019	1,547	+472
東 ア ジ ア	34,840	30,394	+14.6%	2,546	849	+1,696
南 ア ジ ア	8,089	8,338	△3.0%	1,178	1,251	△72
北米・欧州	12,579	11,951	+5.2%	490	397	+93
小 計	91,168	82,779	+10.1%	6,235	4,045	+2,189
調 整 額	△5,309	△5,297	—	△17	97	△114
合 計	85,859	77,482	+10.8%	6,218	4,143	+2,075

平均為替レート：20/3 2Q：1米ドル110円、19/3 2Q：1米ドル108円

売上が過去最高を更新

(単位:百万円)

	2020/3(2Q)	2019/3(2Q)	増減
売上高	35,659	32,094	+11.1%
営業利益	2,019	1,547	+30.5%
営業利益率	5.7%	4.8%	+0.9P

受注

- ・新設事業はホテル向けが増加
- ・モダニゼーションは堅調に推移

売上高・営業利益

- ・新設事業、アフターマーケット事業が堅調に推移し増収
- ・モダニゼーション、修理工事の売上増から増益

中国が増収、利益率も改善

(単位:百万円)

	2020/3(2Q)	2019/3(2Q)	増減
売上高	34,840	30,394	+14.6%
営業利益	2,546	849	+199.7%
営業利益率	7.3%	2.8%	+4.5P

受注

- ・中国の新設工事が前年同期比で3割の増加
- ・香港で新設工事、モダニゼーション、修理工事が増加

売上高・営業利益

- ・売上は中国に加え、台湾の新設事業が増加
- ・営業利益は中国の販売価格の改善、原価低減による採算性が向上
- ・韓国の輸出採算が改善

1-4. セグメント別概要(南アジア)

為替の影響を除けば、売上は前年同期並み

(単位:百万円)

	2020/3(2Q)	2019/3(2Q)	増減
売上高	8,089	8,338	△3.0%
営業利益	1,178	1,251	△5.8%
営業利益率	14.6%	15.0%	△0.4P

受注

- ・シンガポールで新設工事が増加
- ・インドも新設工事、保守が増加

売上高・営業利益

- ・シンガポールは前期と同水準、マレーシアの新設工事が減少
- ・インドは総選挙の影響で1割の増収に止まる
- ・マレーシアの減収とシンガポールの販管費増加で減益

北米は好調を持続、欧州はブレークイーブン

(単位:百万円)

	2020/3(2Q)	2019/3(2Q)	増減
売上高	12,579	11,951	+5.2%
営業利益	490	397	+23.5%
営業利益率	3.9%	3.3%	+0.6P

受注

- ・米国は新設工事、モダニゼーションが増加
- ・カナダは前期の大型案件受注の反動で減少

売上高・営業利益

- ・売上は米国、カナダとも増収
- ・営業利益は米国で若干の減少、カナダが好調で増益
- ・英国はブレークイーブン

2. 2020年3月期 通期連結業績予想

A graphic for FUJITEC's 2019-2021 medium-term business plan. It features a hand pointing at a smartphone keypad, overlaid with a futuristic landscape of glowing blue spheres and lines. The text 'FUJITEC' is in red at the top right, and 'Innovation, Quality & Speed' is in large red letters in the center. Below this, it says '中期経営計画 2019-2021年度' and '行動ビジョン' followed by three bullet points in Japanese.

FUJITEC

Innovation, Quality & Speed

中期経営計画 2019-2021年度

行動ビジョン

- グローバル標準機種への拡販と収益の向上
- 企業成長と企業価値を高める技術基盤の強化
- 顧客ニーズの変化・スピードに対応したプロセス革新

経営品質の向上、SDGsへの取組み

2-1. 通期連結業績予想の修正(1)

中国の伸長により、中計初年度を上方修正

(単位:百万円)

	修正予想	期初予想	増減(%)
売上高	173,000	171,000	+1.2%
営業利益	12,000	10,400	+15.4%
営業利益率	6.9%	6.1%	+0.8P
経常利益	13,000	11,300	+15.0%
親会社株主に 帰属する当期純利益	9,500	8,500	+11.8%
1株当たり当期純利益	117.43円	105.22円	+12.21円

平均為替レート：20/3期 修正予想：1米ドル108円、20/3期 期初予想：1米ドル105円

2-1. 通期連結業績予想の修正(2)

セグメント別では東アジアが上方修正

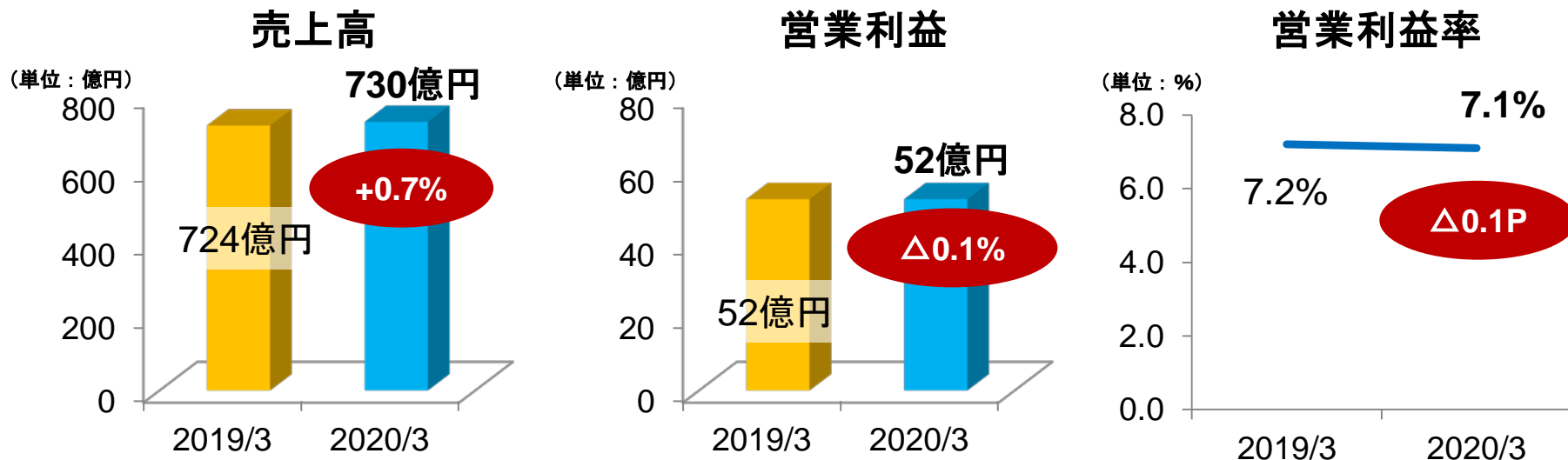
(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	修正予想	期初予想	増減%	修正予想	期初予想	増減額
日 本	73,000	73,000	—	5,200	5,200	—
東 ア ジ ア	67,000	65,000	+3.1%	4,200	2,600	+1,600
南 ア ジ ア	17,000	17,000	—	1,700	1,700	—
北米・欧州	26,000	26,000	—	1,100	1,100	—
小 計	183,000	181,000	+1.1%	12,200	10,600	+1,600
調 整 額	△10,000	△10,000	—	△200	△200	—
合 計	173,000	171,000	+1.2%	12,000	10,400	+1,600

平均為替レート：20/3期 修正予想：1米ドル108円、20/3期 期初予想：1米ドル105円

2-2. セグメント別予想(日本)

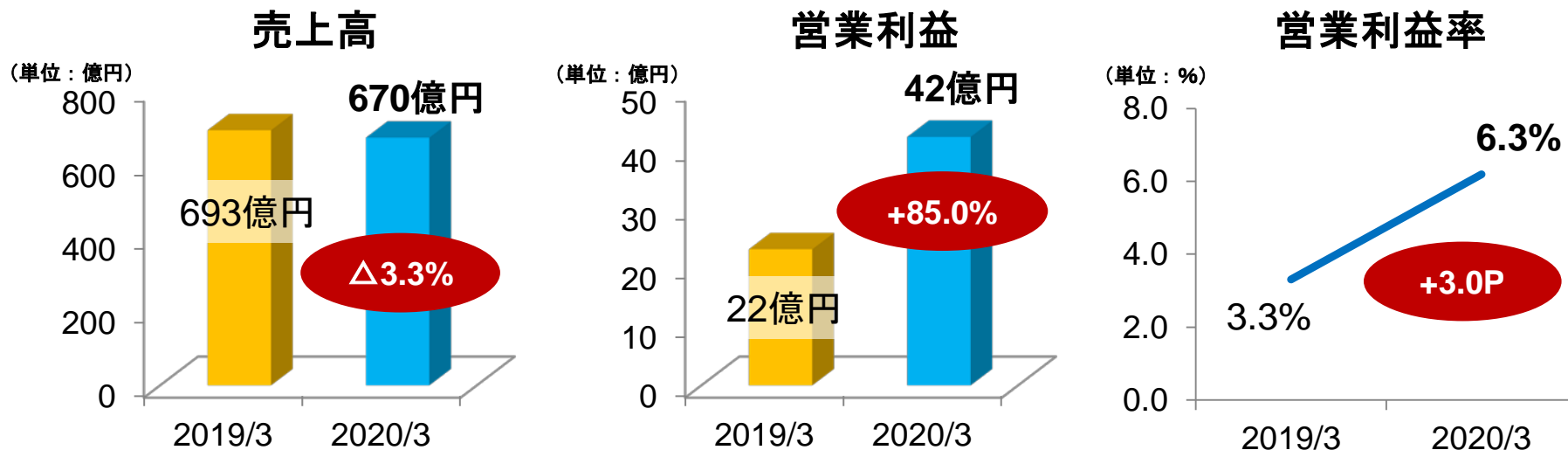
売上は過去最高を更新、営業利益は据え置き



- ・売上は新設、アフターマーケット事業ともに増加の見込み
- ・利益は新設でコスト増もアフターマーケット事業の増益でカバー

2-2. セグメント別予想(東アジア)

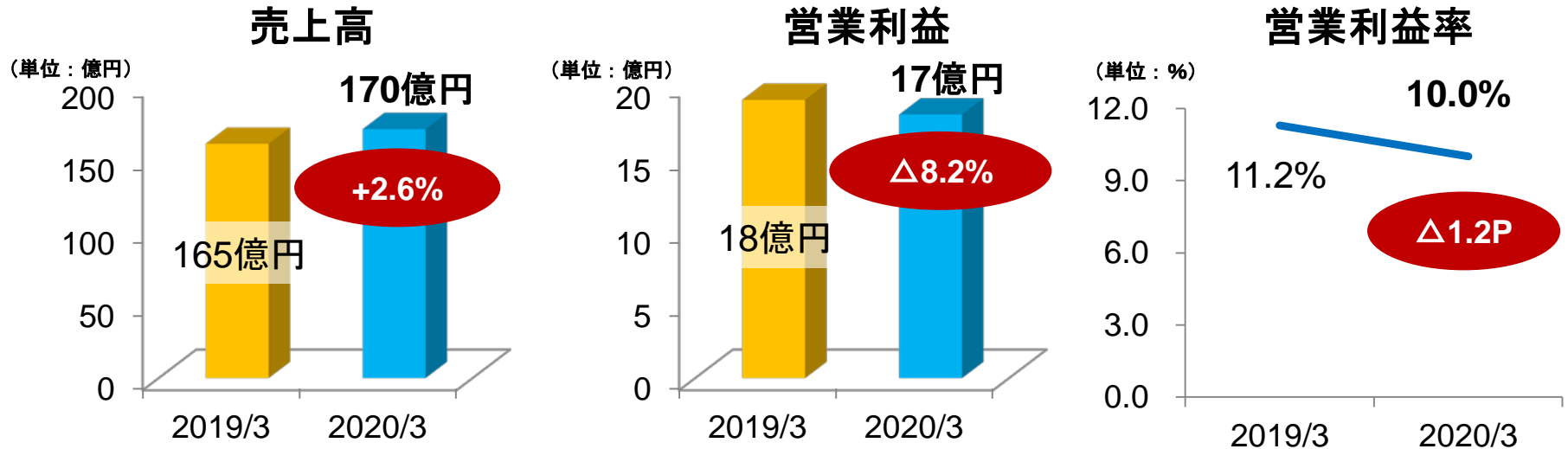
中国は通期でも増収、営業利益は大幅に改善



- ・香港は減収減益、台湾は堅調
- ・韓国は輸出が減少も、輸出採算は改善

2-2. セグメント別予想(南アジア)

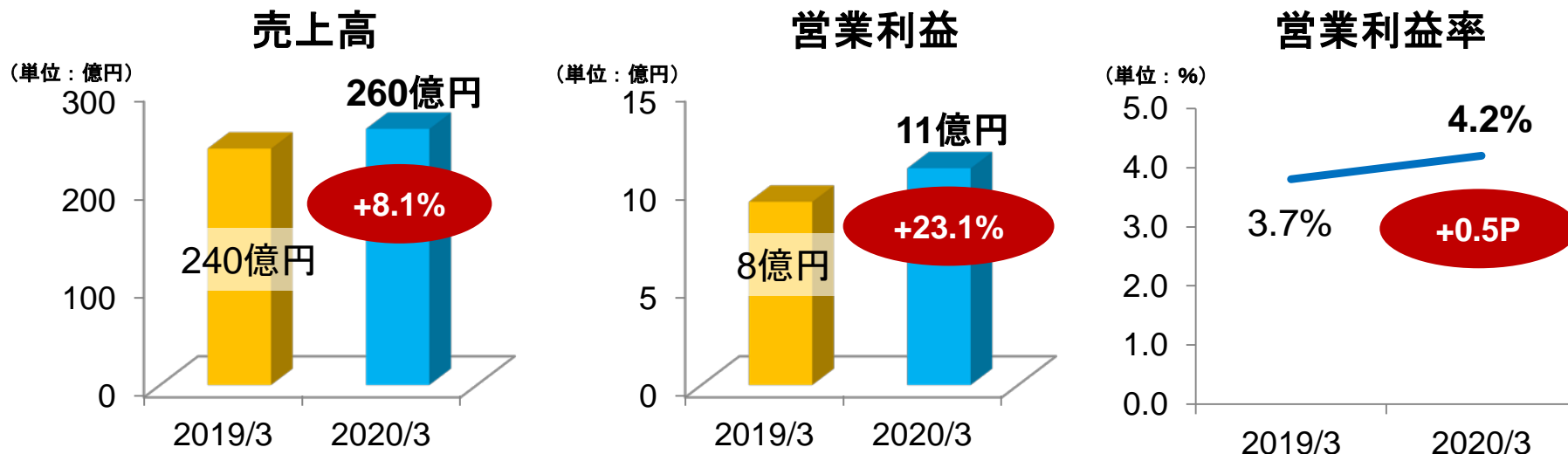
期初計画通りの見込み



- ・シンガポールは売上、営業利益とも前期並み
- ・インドネシアは増収、マレーシアは減収、ともに減益
- ・インドは2割の増収見通し、黒字化は来期以降に持ち越し

2-2. セグメント別予想(北米・欧州)

北米は増収増益を維持。英国は黒字化



- ・米国はモダニゼーションと修理工事が牽引し約1割の増収
- ・カナダは新設、モダニゼーションが好調で約2割の増収
- ・英国は黒字の見通し

2-3. その他

設備投資・減価償却費・研究開発費・配当

(単位：百万円)

	2020/3	2019/3	増減額
設備投資額	4,500	2,912	+1,588
国内	3,000	2,160	+840
海外	1,500	752	+748
減価償却費	3,100	3,055	+45
研究開発費	2,400	2,425	△25

(単位：円)

	2020/3	2019/3	増減額
配当金	45	45	—
中間	20	20	—
期末	25	25	—

参考資料

参考資料1 連結 B/S

(単位：百万円)	2020/3 2Q	2019/3末	増減額	備考
流動資産	134,243	131,181	+3,061	
現金及び預金	52,426	52,244	+181	
受取手形及び売掛金	56,150	54,680	+1,470	東アジアでの増加
棚卸資産	21,997	21,292	+705	
その他	5,938	5,003	+934	
貸倒引当金	△2,269	△2,039	△230	
固定資産	52,860	53,508	△647	
有形固定資産	33,630	33,948	△318	設備投資 +1,337 減価償却 △1,370 為替ほか △285
無形固定資産	3,675	3,874	△199	
投資その他の資産	15,555	15,684	△129	
総資産	187,103	184,690	+2,413	
流動負債	67,626	66,241	+1,384	前受金 +2,834 電子記録債務 △539 短期借入金 △540
固定負債	4,593	4,525	+67	
純資産	114,883	113,923	+960	利益剰余金 +2,560 為替換算調整 △1,648
自己資本比率	55.4%	55.7%	△0.3P	
B P S	1,280.69円	1,271.28円	+9.41円	

参考資料2 キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2020/3 (2Q)	2019/3 (2Q)	増減額
現金及び現金同等物期首残高	25,902	24,043	+1,858
営業活動キャッシュ・フロー	5,786	4,659	+1,127
投資活動キャッシュ・フロー	△2,551	279	△2,831
フリーキャッシュ・フロー	3,235	4,939	△1,704
財務活動キャッシュ・フロー	△2,818	△3,542	+724
現金及び現金同等物四半期末残高	25,566	24,750	+815

参考資料3 最新の主な受注・納入実績

完成



LOTUS TOWER

(スリランカ・コロンボ)

エレベータ・エスカレータ計14台

受注



WANDA PLAZA

(中国・河北省)

エレベータ・エスカレータ計87台

受注



10 EXCHANGE PLACE

(米国・ニュージャージー州)

既設エレベータ16台更新工事

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場)
本社	ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円 (発行済株式数90,067,000株)
役員	代表取締役社長 内山高一 取締役：9名 (うち社外5名) 監査役：4名 (うち社外3名)
従業員数	連結 10,160名 (個別 3,048名)
関係会社	33社 (内、連結子会社18社) (米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東)

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2019年11月26日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2019年11月26日

フジテック株式会社

2020年3月期 第2四半期決算説明会資料

